



ごあいさつ 迎春

新年を迎えました。  
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新年が始まりました。去年は、市政への要望を通じてたくさんの方々にお会いすることができ、励まされながら活動をつづけてまいりました。

今年も、歳をとっても暮らし続けられる大垣市、安心して子育てができる大垣市のために、ひとつひとつ取り組んでまいります。

また国政では、昨年発足した高市政権は金権腐敗は解決せず、物価高騰で多くの国民の暮らしを置き去りにしています。さらに、戦争する国づくりを推し進めている戦後最悪の政権だと日本共産党は考えています。

絶対に戦争させない。国民を飢えさせない。この立場で怯むことなく、対話を大切にしながら、平和で幸せに暮らせる政策を提案していきます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

## 緊急要望 中学校は市独自に 給食費無償化を！

8月に日本共産党「県」要望で、また10月に「市長」要望で、中学校は自治体で予算確保をと要望してきました。

「小学校」の給食費を国が来年度から無償化と言われていますが、中学校は除外です。再度要望として、中学校のための予算準備は自治体で行ってほしいと教育長に要望書を提出しました。担当課長との懇談の中で、国の給食費施策がこの時期にはっきりしないので困っているとのことでした。



### 理由について

### 市長 決断を！

- ① 10月10日の市長要望では、小学生給食費への国の負担額がわからないという答弁でしたが、ひとり月5200円補助するとの報道がでています。国県からの補助は思ったより多かったはずですが。市の負担は月当たりひとり550円、小学校全体で4500万円程度の支出で小学校給食無償化が実現します。
- ② 中学校は入学準備で制服など10万円程度が必要で、負担は大きいものです。
- ③ 中学校の教師たちは私費負担に配慮して、副教材費を極力少なくできないか努力をされています。しかし、一番の負担は給食費です。
- ④ 今、中学生は部活動の地域移行が進み、いろんな意味で追い詰められている状況です。
- ⑤ **小中学校の公平性を維持することは重要です。**
- ⑥ また、「子育て日本一」都市として、食育は学校教育の一環であり公費負担という方針を示すことが市の発展につながります。



日本共産党  
ホームページ



赤旗日曜版  
申込み

赤旗日曜版（ひと月990円）。赤旗記者が、豊かな暮らしと平和を守る記事をお届けします。「報道の自由賞」を受賞。確かな取材力。お問い合わせは大垣市委員へ。  
※日本共産党・赤旗は、ソ連・中国共産党や暴力革命とは一切関係ありません。

## 平和な未来を創るのは主権者である私たち

台湾有事や核武装など大軍拡に前のめり発言が続く高市内閣が、12月26日閣議決定した来年度予算案中の防衛費は過去最大の9兆353億円となり、初めて9兆円を突破しています。2022年度の軍事費が5.4兆円でしたから、わずか4年で3.6兆円の激増です。

増額分3.6兆円は、例えば社会保障関係費のうち少子化対策費3.5兆円。介護給付費3.8兆円に匹敵します。

防衛省は、「日本を守り抜くために必要な予算」といって「防衛力の変革を加速」と宣言しています。その中身は、米国と中国の戦争で自衛隊が安保法制に基づき、米軍支援という名の参戦態勢づくりを急ピッチで進めるものです。アメリカトランプ政権は、GDPの3.5%にあたる2.1兆円という法外な要求を日本に突き付けています。

日本は近隣諸国と緊張関係を作るのではなく、あくまで外交で平和を作るしかないと考えます。大軍拡には反対します。憲法を守り、暮らしに予算を！

日本共産党大垣市委員会

### 政府予算における 教育費と 軍事費の推移



## 高齢者移動の権利 市長！ 大垣市の重要な課題との認識は、ありますか？

来年度予算編成に間に合わせたい。

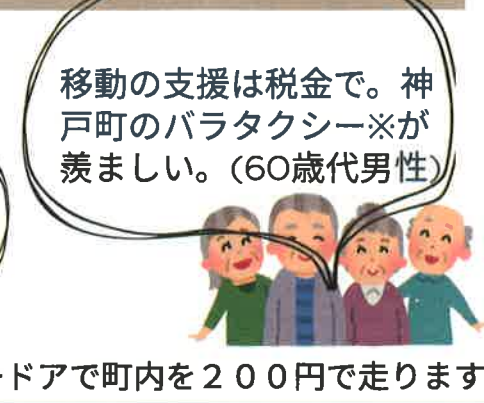
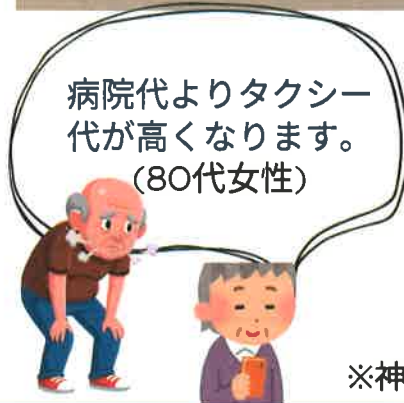
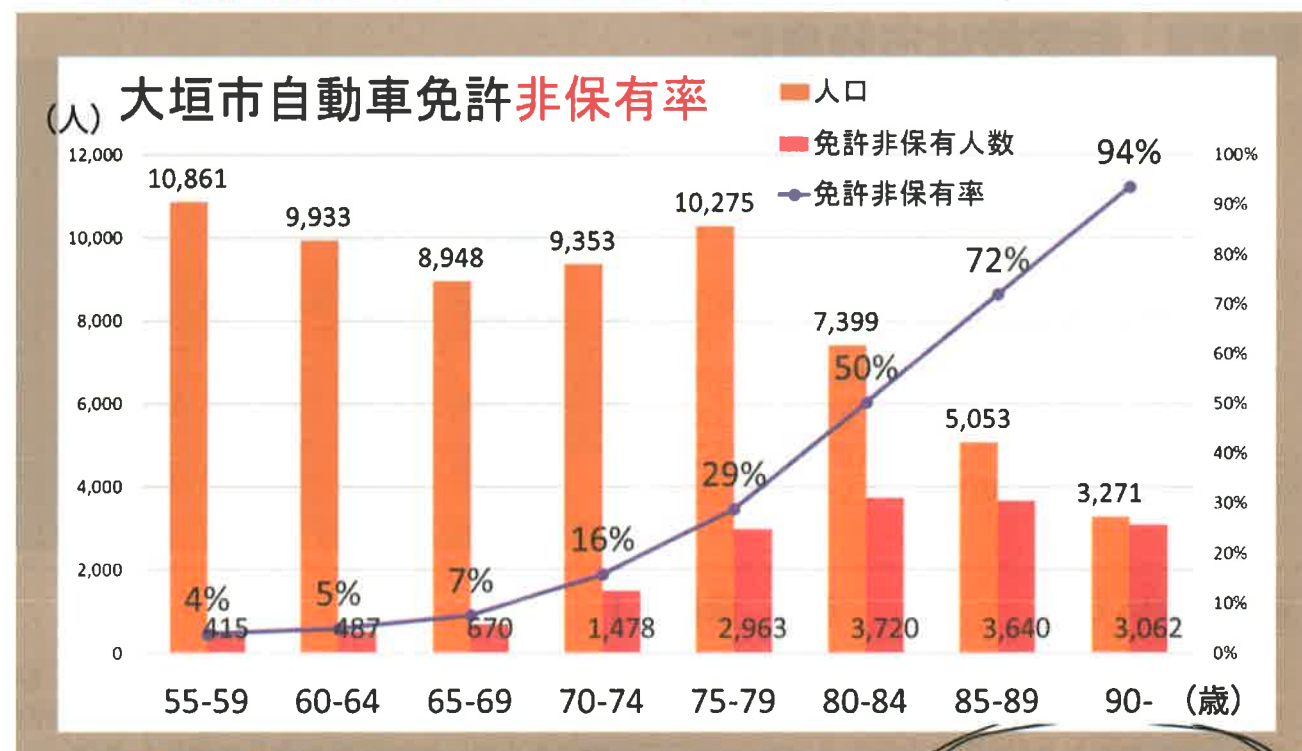
ドアツードアの支援を視野に入れての予算編成をしてください。



中田としや議員

はんざわ多美議員

### 根拠1 80歳以上の1万人余が、免許証非保有です！！



※神戸町バラタクシーは、ドアツードアで町内を200円で走ります。

## 根拠2. 福祉有償運送の利用ニーズが増！

福祉有償運送とは、NPO法人や市町村などが公共交通機関の利用が困難な高齢者や障がい者に対し、半額程度の運賃で行うことが許されるサービスです。個人や地域包括支援センターなどからの問い合わせで対応しきれない状況です。大垣市では、複数事業所がかつてありましたが多くが撤退しました。

にもかかわらず、利用人数は昨年度に比して1.2倍、延べ利用人数は1.5倍といった状況だそうです。撤退の理由は採算が取れない事業だからです。

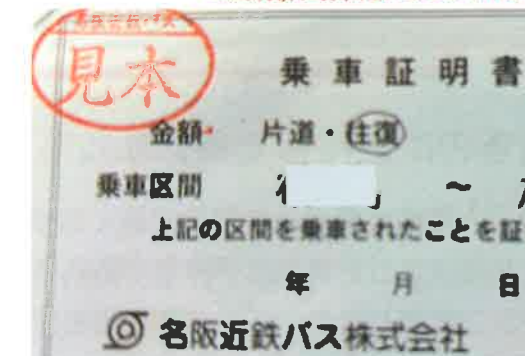
福祉有償運送支援や  
タクシーチケットを



中田としや議員

市長は、福祉有償運送があるからいいんだという答弁を繰り返してきましたが、実態はそんなに甘くありません。運転免許証のない高齢者にしっかりと寄り添ってください。

## 根拠3. 本気で利用してもらおうとしてない？ 「高齢者おでかけバス助成事業」



降車時に運転手に書いてもらい受け取る乗車証明書。

利用しにくい。  
見直しが必要です。



はんざわ多美議員

高齢者が「乗車証明書」を降車時に運転手から受け取り、それを持って市役所に行くと半額戻ってくる制度です。今年度から通院に限らず利用できることとなったものの、周知がたりなく利用もしづらいといった声を聴いています。

## 12月議会一般質問報告 水路除草について

(質問) 大垣市の水路の総距離は？ (答弁) 903 Kmです。  
(質問) 昨年度の除草予算は？ (答弁) 約4600万円です。  
(質問) 除草の課題認識は？ (答弁) 高齢化が進んでおり課題として認識しています。市民の皆さんと取り組んでまいります。

【意見】 大垣市の水路は長い！東京まで行って帰ってくるぐらいの距離があるとは、さすが「水都おおがき」です。汚水は下水、雨水が水路を流れます。

市民の協力によってその維持保全が長年なされてきましたが、高齢化がすすみ除草等の管理の取組みについて改めて施策が必要です。

まずは、現在作成中の「排水基本計画」の中で見える化し、他自治体などの研究をあわせて予算化や機械化の検討を。

